

感情を言葉に表す

園長 篠澤 恵理

10月16日に実施した運動会では、子どもたちがこれまで楽しんできたことを、親子競技や演技に取り入れて実施しました。子どもたちが保護者の皆様と一緒に動いているときの笑顔がとても素敵で、映画のワンシーンを見ているような気持ちになりました。準備や片付け等、保護者の皆様のご協力にも心から感謝申し上げます。

運動会の時のお気に入りの衣装を身に着けた写真を、子どもたちの学びの記録である「ポートフォリオ」に収めることにしました。ご家庭で、運動会の感想を子どもたちから聴いてポートフォリオに添えていただくと、子どもたちが運動会の一つ一つのことにどれほど多くの感情を揺れ動かしていたかということが伝わってきました。

「ダンスの時に、パパがぐるぐる回してくれたのが楽しかった。」「司会は、緊張したけれど大きな声で頑張った。」「リレーの時は、夢中で走ったよ。あともうちょっとで抜かせそうだったけれど、抜かせなかったことが悔しかった。」「(リレーは、)負けてしまったけれど、手を大きく振って、バトンをとさないように強くつかみ、頑張って走ったので楽しかった。」「ドキドキしながらやり遂げたことや、全力で走ったこと、バトンをとさないように注意深くしていたこと、友達を追い抜かせずにくやしいと感じたことなど、情景を思い浮かべながら振り返って言葉に表す中で、さらに印象深く心に残ることでしょう。何より大切なのは、思うようにいかないと感じたことであっても、その中で自分なりに精一杯頑張ったと実感できたことです。取組の過程に意味があると価値付けられたことは、大きな成果でした。

また、保護者の皆様からもたくさん感想をいただきました。「しっかり、堂々と自分を表現していて、嬉しくなりました。」「お友達と協力したり応援したりできていたので、成長したんだと感激しました。」「親が参加のものが多く、子どもを思い出しながら、楽しませてもらいました。」保護者の皆様のまなざしが温かいので、子どもたちの様々な感情も上手に引き出しながら聴き取っていただけたのだと感じています。

子どもたちがその時何を感じ、どのように心を揺れ動かしたのかを丁寧に振り返り、誰かに聞いてもらう経験は、自分の心の声を確かめながら「やり遂げた。」と実感する体験となって、子どもの心を強くしていくと考えます。今後も幼稚園では、子どもたちが自分の感じたことや考えたこと、その時の感情を言葉に表す機会を大切に、自分の心を整えながら物事に取り組めるように支えてまいります。

《今月のめあて》

5歳児
もり組

- ・友達と遊ぶ中で、自分の力を出す楽しさを感じたり、友達のよさに気づき認めたりする。
- ・友達と考えや思いを出し合ったり受け入れたりしながら、目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。

今月の歌

☆ ゆうやけこやけ ☆

- | | | | |
|---|-----------------------------------------------------------------------|---|--------------------------------------------------------------------|
| 1 | ゆうやけこやけで ひがくれて
やまのおてらの かねがなる
おててつないで みなかえろ
からすといっしょに かえりましょう | 2 | こどもがかえった あとからは
まるいおおきな おつきさま
ことりがゆめを みるころは
そらにはきらきら きんのほし |
|---|-----------------------------------------------------------------------|---|--------------------------------------------------------------------|